

刊夕 日二十月九

常警日新聞

定價 一月五拾圓 三月十五拾圓 半年三十拾圓 一年六十拾圓

廣告料 第一欄 每日五圓 第二欄 每日三圓 第三欄 每日二圓 第四欄 每日一圓

發行所 東京市神田區常盤橋二丁目三番地 電話六三〇〇

印刷所 東京市神田區常盤橋二丁目三番地 電話六三〇〇

南柯堂隨筆

一、小島

木津 茂太郎

小島の里は私に取つて一生涯わすれることの出来なところである。

夏の夜の小島は深い印象を私に與へてゐる。籠を作

る家の風呂に入つて窓を明けて見ると、くらやみの道を提灯がやつて来る。螢のひかりがツイと飛ぶ。ツイツイと光つて流れる。湯上りの私は義果さんと武ちやんと並んで縁に腰掛けてゐると、夢のやうに月が出て居て、蒼いやうな無邊の大空を雲の去來がはげしいのである。話も星の話、月の話、ひるがへつて映畫の話、小説の話、種々雑多と移つて、更けるにも氣付かないのである。

ノート

煙草の脂のシミはアルコールで洗ふと抜ける

すると、義果さんがツツ立つて道の方へ行くのでついて行くと、先刻見えた提灯が家の前に立つて居て、義果さんが云ふ。「なにしに來た」

「螢とりに來たのよ」

「螢とり? 採つてやらうか」

「かまはないわ。さ行かう」

その主はAといふ家の二番目の娘で妹をうながして行く。草むらに蟲が哀しいメロデーをおくつてゐる。うしろ姿が暗に消える。

義果さんはもとのところへ歸つて來て、若々しい笑ひ顔をして

明日の献立

【朝】 味噌汁—さつまいも 芋 小付 佃煮

【晝】 煎り豆腐 山かけ 鮪 芥子合 ねぎ 若芽

【晩】 合 ねぎ 若芽

「からかつてやつたのよ」

そして、は、は、はと朗らかに笑ふ。

「は、は、は、は」

と二人も哄笑する。

夏の夜の気分である。

冬の夜はさびしいものであつた。農家の冬は大低爐の端で送られる。夜は爐のまはりに集ひ、種々の口碑傳説や世間話に時を過ごす

私はこの茶を飲む頃のさびしさを一つの詩に唄つた。又私の拙ない作「惱ましき沼」及び「敵討雨の降る沼」等は一年半の小島の里

の寓居の貧しい記念である

私はつくづく淋しい悲しい氣がする。S先生やK先生はあんなに自由に文を驅使なさるのにならうして私にはうまく行かないのだらうかと思ふ。——案ずるに勉強が足りないのだ。多作の後に初めて悟入するのであらう。

新俳句

夕べの顔

木津 茂太郎

○街角にタクシーがとまつてゐる香具師にむれてゐる

○一日のはたらきから歸る蒼い夕の顔

○はなぐもりおまつりがとほる

○うつむけばふつさりと髪を揺るおろして二人辨當にする白浪は春(新舞子)

○小さく氣球が浮いてゐるあさく公園

○蟲の音に澄みゆくものがれ去るもの

○馬を引く百姓ともすれ違つて一本道

○白きものふりいでてしんしんとふる

○あをい山脈よわたしは案山子でござるよ

○古い友とすれ違ふもぬかふるみ

専門優良車

乗心地の超特快適な三四年型

デラツクスセダン着

何卒御用命願ひます

鈴木自動車部

平田(電二一七番)

是非!

御融通には御利用下さい

萬事便利な御相談に應じます

三井質店

平四・電六〇六番

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します

平田町九六

喜多流 仕舞 白土 會

詳細は本會へ御問合せ下さい 電二二七番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠

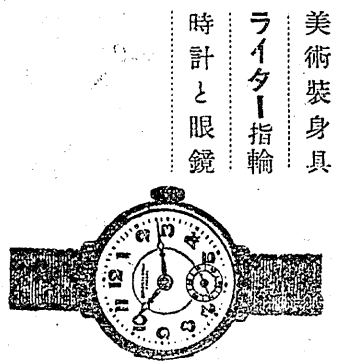
副院長 新潟醫學士 赤羽 清

藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

平田町 電話五二三番

内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

移轉御披露



自九月二十日 五日間

至同二十四日

美術裝身具

ライター指輪

時計と眼鏡

市價一割引

景品付

特價提供

山崎時計店

平・五丁目 小野榮吳服店跡

モリタヤ東隣り

□修繕は技術本位然も自信を以て勉強します

外科 X光線科

性病科

科科

意隨院入

平田町

安齊外科醫院

電話四七五番

◎御家庭薬として是非御用意下さい

熱い湯や火でヤケドなされた時直ぐツケますればヒブクレンにならずなほります

キリ印太乙膏があれば安心です、お試用見本無料で差上げますからドウゾ御遠慮なくいらして下さい。殊にクサにはモットモ良く二、三回ツケればキレイに治ります。

太乙膏

キリ印

ヤケド キリキズ

ヒブクレン

シモヤケ たぐれ

平田町古鍛冶町一〇

阿康藥舗

電話四四番

専賣店

値は安い

買手は殺到

晩秋蠶の初取引

掃立減て品薄の模様

既報四倉商市場の晩秋蠶初取引は昨廿一日から開始されたが未だ出廻り薄で初日の出荷数は九十貫、最高十八圓九十錢、最低十五圓四十錢、馴十七圓に取引され前年の初取引相場廿五圓に比し八圓安を示したが本年度晩秋蠶は糸安の關係で郡下の掃立数は昨年二萬五千貫の約三分の一と見られ品薄なので製糸工場の買付は猛烈を極め初日早々八、九名の買手が押寄せて居る處から相場の値上りを豫想した養蠶家中には出荷を控へて居る向が多いと尚出廻りは今月下旬から來月二三日頃である

十月中の平商行事

職員會決定

平商では昨日放課後職員會を開き十月分の行事に就て種々協議したが主なる決定左の通り
(一日)冬服着用(上旬)第五學年野外教練、正副級長任命、課外讀物調査(十日)視力保存デー(十四日)實業學校に關する調査報告(中旬)秋季清潔法施行、体育テスト開始(十七日)神嘗祭(下旬)遠足運動會(三十日)教育勅語奉讀式

鎌田橋架替

潰地の買収纏る

鎌田橋本町通り直通移轉架替の計畫は既報の如くであるが既に潰地買収も纏つたので本年度内に新橋の橋臺工事を完了し、愈々明年度より總工費十五萬圓程度を以て新鎌田橋の建設並に直通國道開鑿の大工事に着手する筈であるがこの新國道完成の上は現在の國道を町村道に移管するともいふ

潰地値段

飯野村協議

飯野村では今二十二日村會を招集、夏井川改修潰地買却協定値段に就き協議した

四人反別五町二畝である、尚ほ同村の潰地買収協定成れば夏井川改修事務所の今年度工程の潰地は全部纏まるわけであると

舗装工費

納附方督促

平町の國道舗装は今月末を以て竣工するがこの工費二萬圓の内受益者側負擔は四丁目が三百四十六圓二十六錢を完納したのみである爲

落果甚だし

昨日の作物被害

石城郡農會並に石城農事試験分場は目下昨日郡下一帯に襲來した暴風の農作物被害をば調査中にて未だ詳細なる被害は判然するに至らないが目下結實最盛期にある梨果及び柿の落果甚しくな模様にこの暴風による減收はけだし巨額に上るであらうと見られてゐる

新米鑑定

検査所打合

平米穀検査所は本日午前十一時より管内四倉、勿來兩出張所員を招集して本年度新米の鑑定に就いての打合せと事務の研究會を開いた

平倉庫米入札

平農業倉庫は昨廿一日午後一時より在庫米五十七俵を入札に附した結果建値十圓六十一錢で平町丹野修一郎氏に落札し、前回より五

め平町役場では竣工を前にして整理に非常な滯滞を來しけふ未納の一、二、三丁目各區に對し至急納付方の督促を發した

勿來倉庫

落成式舉行

平穀物検査支所では豫て勿來驛前農業倉庫脇に穀物出張所を建設中であつたが此程竣功來月一日落成式を舉行する

梨の即賣

價格協定

石城果樹組合主催梨荷造の品評會は昨二十一日から平農會議室で開かれた出品二百七十点で今二十二日石城農事試験分場長齊藤技師、郡農會青山技師柴田技師三氏が審査に當り二十三日午後二時から平町團體事務所授與式を舉行する筈、尚ほ授與式後から左記協定價格で即賣する
▲長十郎(五貫目箱入り) 一圓八十錢 一圓七十錢 一圓五十錢 一圓三十錢 一圓二十錢 ▲大白(五貫目箱) 一圓九十錢 一圓八十錢 一圓五十錢 一圓三十錢 一圓二十錢 ▲二十世紀(五貫目箱) 二圓七十錢 二圓六十錢 二圓四十錢 二圓二十錢

渡部博士

閉院歸郷

平町渡部外科醫院は開業以來益々隆盛に向へつ、あつたが院長渡部義夫氏の病氣が重い爲め一先づ郷里會津に歸り静養する事になり一般患者より非常に惜しまれてゐる

球界の掉尾を飾る

第四回平軟式野球大會

マルトモ運動具部主催第四回平町軟式野球大會は今年度球界の掉尾を飾つて來月十四日警中、平商、平第一の三球場で舉行されるが平町軟式界の雄選友、平鐵道の外十數チーム参加の筈で盛況を豫想されてゐる因に昨年優勝は三丁目チームであつた

農業教育振興

第三區(平町外十五校)農業教育振興會は本日午前九時より小川小學校に於て本縣影山實業補習教育主事及び古川縣視學臨席の下に開かれ、町各小學校長も出席し

磐女排球小會

體育部では本日放課後四學年の各クラス對抗排球小會を催した

矢野校長出席

校長矢野泰次郎氏は來月十八日より三日間東京帝大安田講堂に於て開催される全國實業學校長會に出席する

地主小作人

けふ懇談

平町農會では本日午後一時より役場會議室に平町の小作人地主等五十餘名を招き生産米の販賣策として農業

閉院御挨拶

爽快なる初秋に御座候處各位益々御健勝に涉らせらるゝ御事と存じ上げ候、さて小生儀今般平町田町に於ける醫院を閉院仕り郷里會津にて病を養ひ度く存じ候に就ては御聲援御鞭撻を賜りし大方諸賢に對し謹みて深甚なる感謝の意を表するものに御座候
昭和九年九月廿二日
渡部 義夫

石炭
コークス
玉炭



阿部石炭商店

電話三七番

けふの電報

平常の五倍以上

近幾地方への颱風見舞

昨廿一日の颱風も平地方は圈内を外れたので平郵便局の電信、電話線には殆んど被害がなく本日は朝来近幾地方への見舞電報を打つ依頼者が殺倒し平常一日卅通程度の申込が今日許りは午前十時頃迄に百四十通の多きを受付け尙續々申込みがあるが局員は眼を廻して居るが何分にも相手方の關

トラックが感電

路上の電燈線から

運轉手が人事不省

植田町大字石塚古川義夫(三)は昨二十一日午後一時頃トラックを運轉して同町地内國道を疾走中烈風のため路上に落ちてゐた電燈線に自動車の泥除けが觸れて感電人事不省に陥つたのを折柄通りかゝつた道路工夫がゴム長靴で電線を除き附近の醫院に古川を擔ぎ込み手当を加へたが生命に別状なき模様

第三校が

驛傳競争

平第三小學校では本月廿六日午後一時より尋常五年六

西方面各線が昨夜来の復舊未だ一部に過ぎないので全國よりの電報襲來に依然遲延を蒙れず爲めに被害のない青森北海道方面への打電も遅延する状態今日一杯は殆んど全國各局共遅延の混雑に陥つたが明廿三日正午頃からは幾分復舊する模様である

選挙違反

罰金言渡

最高で村會議員に當選した貝泊村字耕上一木炭商御所脇虎吉(五)が國上吉之助(三)に金五圓を與へ篠原嘉平(五)長澤三三(五)兩名の投票を買収した選挙法違反事件は既報の如くであるが今二十二日關口判事より左の如く各略式命令を以て處分された

嵐の中で黒焦げ

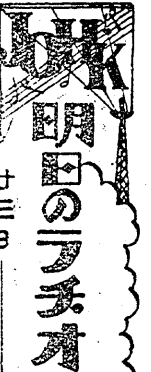
歸宅の途中高壓線にふれて

きのよ暴風雨の犠牲——内郷村御所字坂下三三赤井白煉瓦職工野崎三郎(三)は昨二十一日午後十一時頃平町から歸宅の途次同村御臺境新川端にさしかゝつた際同日の強風で倒れた東部電力電柱の三千二百ボルトの高壓線にふれ黒焦となつて

物置倒壊

神谷村の被害

昨二十一日午後一時頃神谷村大字鹽大工職大平榮太郎さん方の物置(建坪七坪)が折柄の烈風に突然倒壊し滅



天 今晩も明も北西の風天気良くなる

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 童話劇「チヨビ動物話」第六回 B.K.子供サークル
- 後六、二五 英語講座(六)
- 峰尾都治
- 後七、三〇 管絃樂 五重奏 福井巖外
- 後八、〇五 俚謠 鳥井森 鈴外

煙管傷害

罰金卅圓に

既報内郷村大字高坂字臺二七ベリキ職濱津鶴吉(五)が去る六日夜泥棒野郎と罵られて憤慨し同村御所生田吉太郎氏方に於て瀧田明を煙管で突刺した外傍らにあつたシャベルで殴打全治三週間を要する傷害を與へた事件の公判は本日午前十時半より平區才判所に於て中島判事係り吉岡檢事立會の下に開廷事實訊問の上檢事より罰金三十圓を求刑され判事より求刑通り言渡された

「兵隊さん」の

金語樓が来る

忠靈塔資金造成に

聚樂館に公演

平町在郷軍人分會では滿洲忠靈塔建設資金割當額の寄附金造成のため「兵隊さん」の落語で一躍落語界の人氣者となつた柳家金語樓さん一行を招き來日三日午後六時から同町聚樂館で落語の夕べを催すことになつた

借りた自轉車

乗り逃げ搜索

茨城縣日立町大門町和地亮三(三)は去る四月二十六日支人である同町字神田町弓野源藏方を訪問、同人の妻を欺いて自轉車を借用したまゝ行方を晦したが平地方で行商をしてゐるとききけふ源藏から平署に和地の取捕え方を願出た

平驛の寶生會

平驛鐵道俱樂部では來月一日から

童話劇聖き燈大谷三兄團同少女會
前二、〇〇 宗教講話「心を淨うせよ融通念佛」宗總本山大念佛寺管長山上戒全
前一、〇〇、三〇 趣味講庭 月月と俳句 高崎草郎
前二、〇〇 彼岸會法要(第三日)願本法華宗妙滿寺より中繼
前二、一五、五〇 野球試合實況「六大學リーグ戦」神宮より中繼
◎舞臺劇の午後野球なき時放送
後六、〇〇 子供の時間
人畜に死傷はなかつた

お話と特選童話安部季雄
中秋夕月の夕
後七、三〇 短歌當選作發表並に選者講評 川田順
後七、四五 俳句當選作發表並に選者講評 高濱盧子
後八、〇〇 小唄 金子千恵子
後八、一五 箏曲 伊藏松距
後八、五〇 歌謠曲 山里せつ子
後九、〇〇 滿洲より滿洲の月
後一〇、〇〇 滿月觀測京都花山天文堂より中繼

内臟轉位發表 既報内臟の機構が全然正反對な少年患者を發見した平町共濟病院外科部長醫學士坂本眞一郎氏はその研究の結果を來月二十一日郡山市に開かれる東北外科醫學談會の席上で發表すると

事故防止協議

では明廿三日午後十時より泉村地内鮫川河畔に水戸管内各驛の事故防止委員を招き第五回協議會を開き午後から半日の清遊を試みる筈

裁判所たより

△既報江名町大字江名字北町五ノ九二佐藤正一(一)假名が去る四日より六日頃迄の三日間に前後二十五回に亘り窃盜を働いた事件の公判は本日午前九時より平區才判所に於て中島判事係り吉岡檢事立會の下に開廷、判事より檢事の求刑通り懲役一年以上三年以下の不定期刑を言渡された

浮名新音頭

(續前上段及上段) 田邊南龍(作) 山本英春(繪)

一四一

俠客達が救ける

「夫りやア、飛んでもないこつた、縁も由縁もねえが鳴神の野郎は良くねえ事をして居アやがるから取つちめて其お武家を助けてやりてえもんだ」

「然うしてお上げなさいまし」

「ぢやアア俺一人でも不可めえから五六人の腕を借りやう」

此日は元締長兵衛の處へ七八人集まつてお屋敷の事についてお話をして居た、權兵衛が其處へ歸つて來た「ヤア唐犬か、歸つたと思つたらまだ居なざるのか」

「俺ア少し皆んなに頼みがある今田原町の儀兵衛に逢つて斯う斯う云々」

と委細の話をした、市郎兵衛、長五郎、喜三郎、茂平等目を睜つて

「そりや唐犬の兄貴の云ふ通り其のお武家さんは氣の毒なものだ、善いか悪いか知らねえが鳴神の歸り道は確に其處だから叩きのめして其のお侍を奪ひ、引つ擔いで行つて療治をして上げようぢやアねえか」

宜からうと茲で相談が纏まり六人の者が身仕度して出掛けました。

此方は鳴神藤藏始め菊地源六其他兒分の者は、銘々に腹ごしらへをして料理屋を立出でました、待ちに待つたる長兵衛味内がドツとばかりに喚き出で、散々



に打のめして了つたので菊地源六や鳴神藤藏等は菰包みを打棄つて逃げて了ふ、六人の者は追掛けもしないで菰包みを持つて長兵衛元締の家へ來て話をする、萬事を聞いた長兵衛が氣の毒に思つて、醫者を呼んで直ぐに手當し素々餘り重傷

はなかつたと見えて蘇生した、目を追つて傷も段々癒えたから萬事の話をして長兵衛始め一同の人がする、聞いた仁兵衛が涙を流して一同に厚く禮を述べる其處で一同の者は氣の毒である云ふので鳴神は兎に角菊地源六の奴が憎いから呼出しをかけて斬らうと云ふ俠客衆が計らひを以て市ヶ谷の八幡前へ菊地源六を呼び出した、江田の仁兵衛は股立を取り纏を掛け支度をして

「源六其方は卑怯な事を致したな今日は武士と武士とが眞剣勝負、逃げ隠れは致させないぞ」

者があつたらば出て坊げのないやうにしてやらうと遠くから見てゐる、暫らく斬り合つてゐる最中へ中の町奉行の手付けが手先を連れて通り掛つて此の様を見て「白晝劍戟の沙汰を致すと云ふので不都合千萬である、双方共役所へ連れ參るから左様心得ろ」

と大喝するとバツと後へ飛び退つた仁兵衛

「恐れ入りましたございませ、宜しく願ひます」

と刀を鞘に納め、大小を夫れへ、差出し小膝を突いて禮を厚くする相手の源六は慌て、拭ひもせず刀を鞘に納めて逃げ出したソレツとお手先が飛が、つて取押へる、双方共お役所へ引かれて御吟味。

仁兵衛は明るい身體、是れまでの一伍一什を申し上げる、菊地源六は段々お調べになつて見ると大金を持つてゐる。

花柳外科 木村外科醫院

門專科

院醫科外村木

際橋目丁六町平 番九〇三話電

りあ便の院入炊自

看護婦急派

の求めに應

じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番

涼風を追ふて ブイラド

タクシーは尼子へ

車体優美御用命は親切

迅速をモットーとす

ニ子タクシー

電六四〇番

洗練されたサービスは完全に

皆様の使用をします

斯界の權威

クロードネオン

ネオンサインの御撰擇は何より先づ品質の秀麗、耐久力、豊富、就中設備の完備が最要件であります、クロードネオンはネオンサインの發明者佛人ジョルジュ、クロード博士の特許に依つて製作されたものでありますから之等一切の條件を完備したもので不完全な特許侵害品や模造品とは自ら其性質を異にして斷然他製品、追従を許さないのであります。

御申込次第型録進呈御相談に應じます

クロードネオン代理店

日東商會

電話四二八

貸切の御用命は

ぜひ三井自動車部へ!!!

電話六八五番

◎乗合は好間、合戸、澤渡方面行

産婦人科 院長 木村寅次郎

外科 醫學博士 内木宗八

藥局 藥劑師 立番彌一

平町新川町十九

入院隨意 病室完備

木村病院

電話六四番